

南魚監第 45 号  
平成30年7月25日

南魚沼市長 林 茂 男 様  
南魚沼市議会議長 小 澤 実 様

南魚沼市監査委員 小 林 勝 巳  
南魚沼市監査委員 牧 野 晶

### 定期監査及び行政監査の結果に関する報告について（その1）（提出）

地方自治法第199条第2項及び第4項の規定に基づき、定期監査及び行政監査を実施したので、同条第9項の規定により、その結果を下記のとおり報告します。

### 記

#### 1 監査の対象

平成29年度における財務事務の執行状況及び施設、園児の安全管理並びに運営状況全般

#### 2 監査の実施期間及び対象箇所

平成30年5月31日から平成30年6月5日まで

| 実 施 日       | 監 査 対 象           |
|-------------|-------------------|
| 平成30年 5月31日 | あおば保育園            |
| 6月 1日       | 大崎保育園             |
| 6月 5日       | 藪神保育園 赤石保育園 三用保育園 |

#### 3 監査の方法

各保育園に赴き、あらかじめ提出を求めた監査資料に基づき、園長等から説明を受け、その後質疑応答を行い、園内巡回し施設の管理状況を確認するとともに、関係諸帳簿及び書類の抽出による調査等の方法により実施した。

#### 4 監査の主眼

今回は、以下の点を主眼に監査を実施した。

- (1) 予算の執行は計画的、効率的に行われているか。
- (2) 施設及び園児の安全管理は適正に行われているか。
- (3) 運営は適正に行われているか。

## 5 監査の結果

予算の執行及び事務処理等はおおむね適正に行われており、施設等の管理についてもおおむね適切に実施されているものと認められた。

監査委員としての所感は以下のとおりである。

### (1) 保育の状況

- ・いずれの保育園も恵まれた自然環境の中、学校・家庭・地域との連携を積極的に心がけ保育の充実を図っていた。「なかよく・げんきに・のびのびと」を保育目標に掲げ、個々に寄り添ったきめ細やかな保育業務を心掛けていた。保育業務全般において保育士に求められることが多様化している現状であるが、今後も積極的に保育技術の向上に努め、様々な家庭環境で育った個性豊かな子ども達が皆、安全な保育環境のもと健やかで楽しい保育園生活となることを望むものである。
- ・子ども達を取り巻くさまざまな環境での想定外の災害や事故への危機管理について、職員間で情報を共有し、それぞれマニュアルに基づき緊張感をもって対応している。年間避難訓練計画をたて毎月避難訓練を行っていた。不審者対応訓練については、駐在さんが来園して直接指導を受けている保育園もあった。
- ・災害共済給付保険対応の事故は、いずれも大きな事故はなかったが、事故については事故原因の確認と反省を怠ることなく園児の安全に細心の注意を払っていただきたい。

### (2) 保護者との関係

- ・いずれの保育園も保護者との意思疎通を大切にし、信頼関係を保ちながら個々の保育に繋げていた。子どもの発達面についての相談には、保護者と情報を共有し他の機関との連携を図りながら早期に対応をしている。

### (3) 施設の管理状況

- ・施設の修繕は随時適切になされていた。
- ・給食調理員専用トイレの設置がされていない保育園については、感染症予防のため設置の検討をしていただきたい。

### (4) その他

- ・賄材料の納品書を監査したところ、不良品のため返品している事例が散見された食の安全を図ることは基本である。新鮮で良い食材を納入するよう業者に注意を促していただきたい。